

## 事業計画書

事業名	フェンシングフェスティバル 2019
実施場所	キラメッセ沼津（仲見世商店街の利用も検討中）
実施予定期間	平成30年10月1日～平成31年3月31日まで イベント開催は3月3日日曜日を予定

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
10月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検定会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 ・平成30年2月のイベント開催PRブース設置の反響を踏まえ、イベント会社PACと打ち合わせ開始 ・また、2020年東京オリンピック代表合宿招致を沼津市と共に取り組んでいくため、引き続き共催依頼等を行っていく。
12月	・広告宣伝についてはチラシ作成のほか、SNSやNPO法人沼津新鮮組とも協同しながら広く周知に取り組む。
3月3日(日)	・平成29年度まちづくりファンドにて作ったPRブースをバージョンアップしてイベントに活用。 <イベント内容> ① 代表選手等によるデモンストレーション ② 代表選手によるトークショー ③ 子供達の「はじめて体験会」 ④ 鈴木穂波選手（現日本代表、沼津出身）を応援しようコーナー ※場所については、仲見世商店街での実施も検討したい

## ◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

## 1. 県内競技人口の増加

現在、県内の実質活動人口約100名を5年間で倍増の200名を目指す  
（子供の教室の底辺拡大、沼津市立高校の部活復活等の市内高校の部活増加）

## 2. オリンピック代表合宿誘致について

以下の代表合宿誘致を進めていきます。

2018年10月 男子サーブル日本代表選手団及び海外チーム（ドイツ、ハンガリー等）

2019年 男女サーブル日本代表選手団及び海外チーム（未定）

2020年4月 男女サーブル日本代表選手団

## 3. 全国少年大会の開催

平成31年の全国少年大会を沼津市で開催するのを皮切りに、毎年フェンシングの少年大会を継続実施して、沼津市をフェンシングの聖地としていく。

**◎評価の視点に合致していることの説明** ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

<p>公益性</p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。                  現在、東京オリンピックのフェンシング選手代表合宿誘致活動を行っています。国民の関心はスポーツに日に日に増してきており、本イベント等により①市民への認知度向上②日本フェンシング協会への沼津市のPRを図ることで、その実現可能性が広がっていきます。</p>
<p>発展性</p>	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。                  上述の東京オリンピック代表合宿誘致をチャンスと捉えハード面での体制を整えて、全国大会や国際大会の誘致を行っていくことにより、沼津市＝フェンシングというブランドイメージの確立を図り、交流人口増加による経済波及効果も見込めます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。                  沼津のフェンシングの歴史は古く、沼津東高校や沼津西高校の伝統校があり、インターハイ優勝選手を輩出するなど、地域に根付いたスポーツです。またタムラ道場や土曜子供教室、BDPサーブル教室と子供の教室が年々拡大してきており、一層の充実を図っていきます。</p>
<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。                  平成29年度事業として、フェンシングPRブースを設置しイベントを実施しましたが、やはり単発のイベントではなく、継続実施する事業としていくことにより、より一層の効果を発揮すると考えます。PRブースを更にバージョンアップして活用していきます。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。                  フェンシングはマイナー競技ですが、わかりやすい解説やショーアップがあれば、エンターテインメント性を持っており、フェンシングフェスティバル2017は大成功し、昨年は全日本でもその取り組みが見られました。今回開催するにあたり、バージョンアップした仕立てにて開催していきます。</p>
<p>継続性</p>	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。                  フェンシングフェスティバル2017を開催し約600名の集客を達成しました。また、まちづくりファンドを活用して2018にも取り組み、約300名を集客しました。NPO法人沼津新鮮組も立ち上がり、賛助会員からの入会金やスポンサー企業の継続実施等により、財政基盤を固め継続実施していきます。</p>

**◎特に高い公益性を有することの説明**

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。